



# 将来のことを考える...



受験生の親は大変だと聞いてましたが、本人よりも親が悩んでる気がします。将来に繋がる一歩とも言える高校選び。私が中3の時は夢も無かったし何となく普通高校に進んだらいいかな？程度だったなと覚えてます。私の両親は子供の意思を尊重してくれる親でしたので私が全て決めて良かったんですが...その時もう少し助言してくれてたらまた違ったのかな？とも思います。将来何をしたいのか？我が子に聞いても『わからない』と答えます。高校卒業後は進学するのか？就職するのか？それすらも分からないと...受験まで後2~3ヶ月に迫ってきてるのに私ですらどうやって高校を選ぶべきか、いまだに分かりません。だからこそ三者面談は必要なんだなと思います。短い時間の中で何を聞けばいいのか...三年生の先生達は懇談会後や行事の隙間時間なども親身になって話を聞ってくれる先生方ばかりで本当ありがたいと心強いです。

前号の進路の話を受けて、  
家庭で将来の話をしていただけ  
たでしょうか？ 皆さんの返信(左)  
が私の娘の話と同じような感じ  
だったのでご紹介します。おそく、  
大部分のご家庭が同じ  
ような状況 ではないかと思

います。私の娘は、さらにひどく、大学で就職活動をしている時に「何をしたいのか？」と聞いても『わからない』と答えるようなありさまでした。だから、高校受験の時でも、どこを受験するかまよったり、A高校を受けると面談で決めたのですが、なんと願書を書いた後に「やっぱりB高校にしようかな...」なんて言い出す始末。本当に夢もポリシーも何もありませんでした。だから、卒業して就職しても、その仕事に執着は無く、長続きはしませんでした。そういった経験があるからこそ、四中の生徒たちには、同じような経験をさせたくないと思っています。正直なところ、どうしたら、『夢』や『なりたいこと』を見つけさせてあげることができるか、私たちに方法はありません。しかし、**ことあるごとに考えさせてあげる**ということは大事だと思っています。➔

下の娘たちには、出かけた時とか、ドラマを見ている時なんかには、「**一人の仕事はどう？**」みたいなフリをしてイメージさせていました。(妹たちに「女果があたかどうかはわかりませんが、最終的にはしたいことを見つけられました」とにかく、大事なことは、**将来の姿や、仕事をしている自分をイメージする**機会をつくらせてあげることかな、と思います。

1,2年生は、まだ時間があります。3年で進路決定をするまでに、そういう機会をできるだけ多く作ってください。また、3年生は、三者面談があります。面談は、最終決定の確認の場となりますので、悩まれている場合は、面談の前に担任や学年部等の先生方と相談されてください。私の娘のように直前になって心変わりしたり、面談の場で親子ゲンカになったりなどないようにお願いします。子どもたちにとっては、初めての人生の選択となります。ここで**すべてが決まるわけではありません**ので、気負う必要はありませんが、大事に考えていきたいと思っております。担任をはじめ、すべての先生方が、自分の子とも思っており、職員室の中でお互いに相談したり、打ち合わせをしたりしています。気持ちが固まっている人はいいですが、そうでない人は不安がたくさんだと思います。でも、みんな同じ気持ちです。スラスラに二人話をしている私の子どももそうだったんですから。そういう経験も大事です!! **一緒に悩み、考えていきましょう!!** 二人三脚ですよ。

適性や、向いている仕事について、17人の方々に話をきいてきましたが、一番多かった答えが、**人を喜ばせることを、たくさん本気でやりなさい!!**

でした。そうしていること、したいこと、というか、自分にとって**やりがいがあるな**、と思えることに気づいて、それを生き生きとやっていくのが多いよ、と言われました。言い方はちがうけど、多くの人がこのことを言われます...

返信ありがとうございます。  
ご意見ご感想等  
ぜひお願いします。

